

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	生活と法Ⅲ	狩野 俊郎	1 年次	秋

授業のキーワード	生活に関する法律や法律に係る手続きなどを主に住宅の新築を例にして理解する。
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	授業科目「生活と法Ⅰ」および「生活と法Ⅱ」で学ぶ所有権や物権法、抵当権、債権総論、契約、消費貸借などについて、住宅の新築や土地購入などを例にして、理論を具体的に理解・修得する。
履修のアドバイス・ 前提科目等	授業科目「生活と法Ⅰ」、「生活と法Ⅱ」、「生活と法Ⅳ」も選択することが望ましい。

## 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	講義の進め方とねらい 金融機関の業務	授業のねらい 授業の進め方 預金業務	第 9 講	不動産購入と法	住宅土地・建物購入と法律 宅地建物取引業法 重要事項説明書など
第 2 講	金融機関の業務	貸出業務（企業向け／個人向け）	第 10 講	各種証明書等	登記簿謄本 印鑑証明書、住民票 所得証明書 農地転用許可証など
第 3 講	金融機関の業務	為替 証券化商品 保険商品 その他	第 11 講	決算書と確定申告書、源泉徴収票の見方	住宅等の新築・購入とその規模 妥当性の検討 不動産業者の見分け方
第 4 講	個人向け貸出金	住宅ローンについて	第 12 講	住宅資金Ⅰ	住宅ローン商品について 商品種類、代表的商品の内容と法的構成
第 5 講	住宅とは	着工から完成までの工程（住宅展示場での講義とレポート作成）	第 13 講	住宅資金Ⅱ	住宅ローン商品の事務の流れ
第 6 講	住宅建築	建築に係る契約と手続き	第 14 講	住宅資金Ⅲ	住宅ローン申し込みと添付書類 および諸費用について ライフサイクルと住宅取得
第 7 講	住宅建築に係る法律	建築基準法について	第 15 講	定期試験	
第 8 講	新築手続き	設計と建築確認申請手続き 登記		評 価 方 法	出席および定期試験の結果等により判定する。
	備 考 (関連する資格・試験等)	進路先として金融機関や住宅会社への就職を希望する学生に適している。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
(株)きんざい『図説金融ビジネスナビ2012－金融機関の仕事編』 住宅等取得に関する書籍（未定） 変更の可能性もあります。			経済法令研究会『住宅ローン実務に学ぶ融資法務Q & A』		